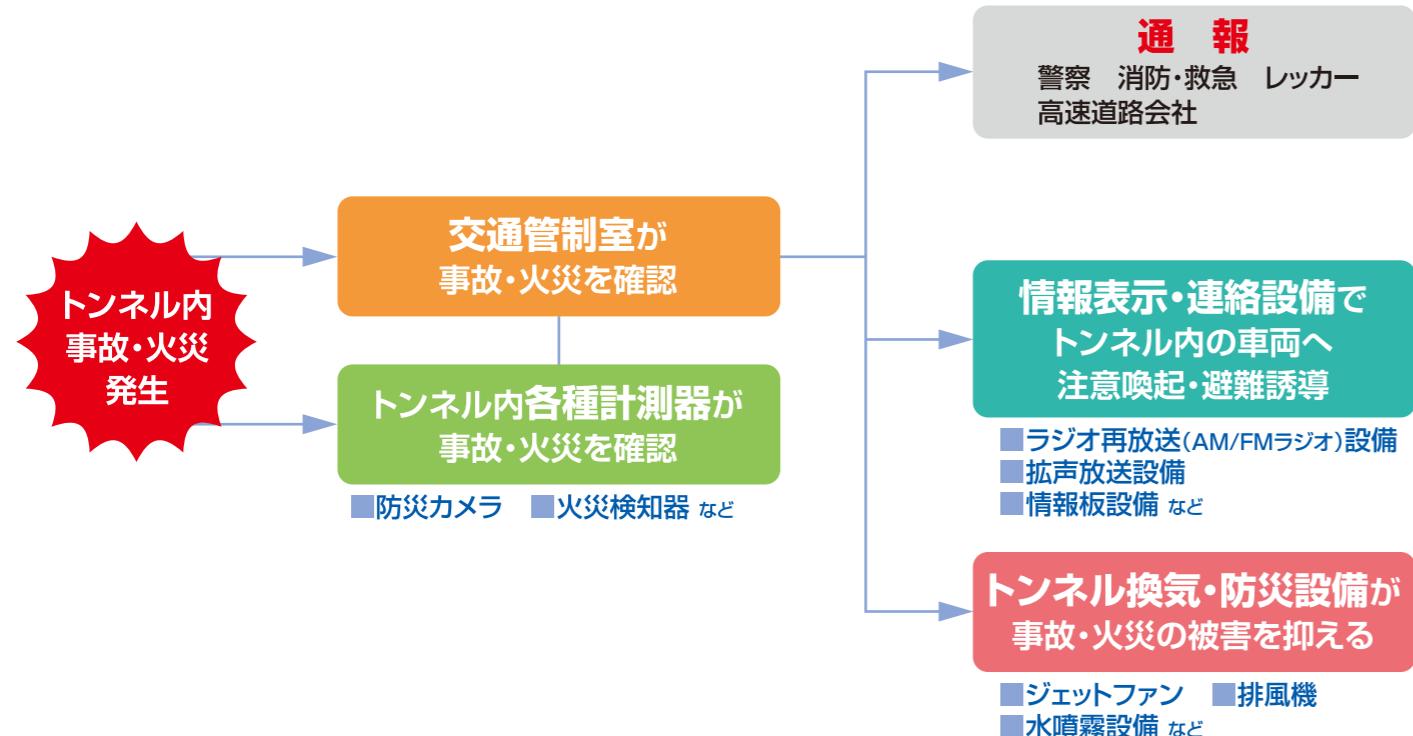


長距離トンネルを快適に利用いただくため、安全・安心を提供する設備を設置しています。

トンネル内で発生した事故や火災にすぐに対応するために、トンネル内には様々な設備を設置しています。トンネル内の環境変化をすぐに感知する機器類と、人の目による監視が連携することで、迅速な対応を行います。



測定機器

■ 防災カメラ



170台のカメラによる映像は管制室内のモニターに映し出され、トンネル内の状況を把握することができます。またこの映像を画像処理し、車両の停止、低速、渋滞、障害物等を避ける動きなど異常な走行状態を自動的に認識する装置を設置しています。

■ 火災検知器



赤外線センサーで炎を検知し、火災が発生したと判定した場合、自動的に管制室へ通報されます。

■ 煙霧透過率測定装置(VI計)



排気ガス、塵埃、霧による視界の低下を測定します。

■ 風向風速計(AV計)



超音波を利用して、風向きや風速を測定しています。

道路監視・司令

■ 交通管制室



交通管制室では、24時間体制でトンネル内の監視を行い、火災・事故発生時の対応に備えています。

情報表示・連絡設備

■ ラジオ再放送(AM/FMラジオ)設備



通常時はトンネル内で、AM・FMラジオの再放送を流しています。もしトンネル内で緊急事態が発生した場合、通常流れているラジオ放送の電波に割り込ませて、トンネル内に緊急放送を行います。

■ 拡声放送設備



トンネル内で火災が発生しました。

火災発生などの非常事態に、音声による避難誘導を行うための放送設備です。

トンネル換気・防災設備

■ ジェットファン・排風機



火災発生時には避難環境を確保するため、煙の流れをコントロールし、普段は排気ガスによるトンネル内の環境悪化を防止します。

■ 水噴霧設備



火災発生場所付近の前後に幅広く霧状に放水を行い、火勢の抑制や延焼防止を行います。